

平成 24 年度から平成 28 年度（見込み）までの取り組み

*取り組み項目のタイトルの右欄にある「基本目標」と「ライフステージ」は、その取り組み項目の事業が該当する部分を塗りつぶしています。

取り組み 1

各分野における食育に関する情報提供

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中

【内容】

保育園や学校での給食・栄養のおたよりを配布し、早寝・早起き・朝ごはん等を推進したり、試食会を開催し、食の大切さを伝えています。

地域子育て支援センターでは、子育て講座を開催し、離乳食や幼児食・こどもの歯・おやつ作りについて、親子で学んでいます。

食育講演会や出前健康講座では、幅広い年代の方へ、食育の知識普及の講話をしています。これまで、子どもの才能を生かす食べ方、食物アレルギー、働き盛りの健康、骨と筋肉を丈夫にする食、高血圧と糖尿病、便秘と食物繊維など、多様なテーマで実施しています。

健康情報展や元気フェスティバルでは、特に糖分や脂肪分、塩分の取りすぎ、野菜不足を解消できるよう、模型や実物を展示するなど啓蒙しています。

【効果】

市民の食に関する悩みを解消し、健全な食生活に向けた知識や技術、実践のヒントを知ることができています。

	H24	H25	H26	H27	H28（見込）
健康情報展 (元気フェスティバル栄養コーナー～ H26まで)	約 800 人 (470 人)	約 900 人 (543 人)	約 1,000 人 (400 人)	約 900 人	約 900 人
食育講演会	78 人	60 人	44 人	47 人	60 人
出前講座 (栄養関係抜粋)	10 回 224 人	10 回 213 人	15 回 333 人	14 回 285 人	15 回 300 人
生活習慣病 予防講演会	2 回 178 人	2 回 163 人	2 回 271 人	2 回 70 人	2 回 150 人
健康運動教室 水中運動教室	実 75 人 実 31 人	実 77 人 実 35 人	実 71 人 実 54 人	実 68 人 実 63 人	実 65 人 実 65 人
子育て講座	5 回 117 人	4 回 68 人	7 回 68 人	5 回 77 人	5 回 86 人

(地域子育て支援センター・学校教育課・健康推進課・高齢者支援課)

取り組み 2

保育園・学校給食にて

地元産食材を使用し、身近に感じる

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

小学校では、JA道央と連携し、地元・近郊でとれるジャガイモ他の野菜を給食の食材に使用しています。

寒地稲作発祥の地である北広島で、赤毛種米の歴史を学び、学校給食で市内小学校4年生に提供しています。

有機農産物の生産プロセスや地域資源の循環利用や生態系の保全等の多面的な機能について学習し、給食で提供しています。

【効果】

地元・近郊でとれたことを知り、触れることで、おいしさや身近さを感じ、食への関心や愛着を高めています。

		H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
小 学 校	地元の食材 (時期/食材)	7~11月 ジャガイモ 他5種	7~11月 レタス 他5種	7~10月 レタス 他7種	8~11月 ジャガイモ 他7種	7~10月 ジャガイモ 他7種
	赤毛種米 (対象学年/ 時期)	小4対象 12月	小4対象 12月	小4対象 1月	小4対象 12月	小4対象 12月
	有機農産物 (時期/回数/ 授業実施校)	—	9~10月 5回 1校	9~11月 7回 2校	10~11月 5回 2校	11~12月 4回 3校
保 育 園	地元の食材 (時期/食材)	通年~米 6月~いちご 8・9月~とうもろこし				

(給食センター・保育課)

取り組み 3

保育園での行事食やシルバー子育てサポーターから

昔ながらの味と伝統行事の大切さに触れる

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

地域子育て支援センター「あいあい」では、シルバー子育てサポーターと一緒にクッキングを行っています。センターを利用している親子で草団子や桜餅、さんま料理等のおばあちゃんの料理を学んでいます。

保育園では、季節の行事食を給食に取り入れ、旬の食材を調理前に保育園児に見せ、実際に触れています。

【効果】

昔ながらの味付けや伝統行事の大切さを次世代につなげる機会となっています。

シルバーさんの豊かな知識と経験を生かすことができ、生きがいになっています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
回数	3回	3回	3回	3回	3回
参加数	33人	58人	55人	65人	65人

(シルバー子育てサポーター数 H24:8人 H25:9人 H26:11人 H27:15人)

(地域子育て支援センター・保育課)

取り組み4 農家での収穫体験と地場農産物の調理・試食体験

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中

【内容】

小学生の親子を対象にした食農教室で、市内の農家に出向き農作物の収穫を体験し、収穫した食材で調理実習をしています。

【効果】

地元の農業経営者から直接話しを聞くことで、農家の苦勞や喜び、農作物への関心を高める機会となっています。

	H24	H25	H26	H27	H28
食農教室参加数	14組 33人	15組 34人	8組 19人	9組 19人	9組 20人
食農教室に参加して「満足」と回答した参加者数	28人 (85%)	32人 (94%)	19人 (100%)	19人 (100%)	17人 (85%)
田植え・稲刈り教室参加数	80人	80人	77人	78人	79人

(農政課)

取り組み5 小中学校における食に関する指導

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中

【内容】

食の指導の手引きや全ての小中学校で全体計画を作成し、教科等と関連づけ、児童・生徒の学年に応じた食に関する指導に取り組んでいます。実際に米づくりや野菜栽培体験を取り入れています。

【効果】

児童・生徒の食や健康、社会の仕組みに関して知識を得、給食活動を通して正しい食事・食習慣を身に付けるなど、関心を高めています。体験型学習では食べ物を大切にする心を育てています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
食に関する授業実施率	66.1%	73.2%	70.1%	77.3%	77.4%

栄養教諭による食指導	小学校	小学校	小学校	小学校	小学校
	107回	103回	104回	103回	106回
	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校
	18回	20回	13回	19回	20回

(学校教育課・給食センター)

取り組み 6

給食や配食サービスにおける

安全で偏りのない食事の提供

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

小中学校へ安全・安心な学校給食を提供しています。

高齢者や障がい者のみの家庭には、夕食の弁当（一般食と治療食）を配達しています。

【効果】

栄養バランスのとれた食事を安定的に提供することで、偏りを防ぐ食事摂取や生活習慣病の予防の手助けとなっています。

	H24	H25	H26	H27	H28(見込)
小学校 給食回数	170~ 192回	174~ 192回	173~ 194回	173~ 195回	175~ 195回
中学校 給食回数	166~ 192回	167~ 191回	168~ 192回	167~ 191回	162~ 192回
配食サービス 利用者数	285人	304人	329人	340人	360人
配食サービス 配食数	43,263食	42,951食	47,725食	49,946食	51,570食

(給食センター・高齢者支援課)

取り組み 7

高齢男性のための生活講座における

調理実習をきっかけに仲間と交流

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

高齢男性のための生活講座で、調理経験の少ない男性を対象に調理の基礎を実習しています。栄養バランスを考えた献立づくり、よく噛んで食べる大切さ、ごみの分別の仕方などを学習し、明日からの生活の実践につなげる講座となっています。

講座終了後も自主的に集まり、料理づくりを楽しみ、調理した食事を仲間と楽しく共食しているグループもあります。

【効果】

自分で作った料理の完成を喜び、家庭での実践につながっています。自作の食事のおいしさや食事を作る大変さを実感し、手作りのおいしさと作る人への感謝の気持ちが養われています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
生活講座(5回) 参加数	実 15 人 延 60 人	実 15 人 延 44 人	実 14 人 延 62 人	実 15 人 延 68 人	実 11 人 延 55 人
生活講座終了 後のサークル 支援	2 団体 3 回 39 人	2 団体 2 回 17 人	2 団体 4 回 61 人	2 団体 4 回 60 人	2 団体 4 回 60 人

(高齢者支援課)

取り組み 8

出前食育講座における

「早寝・早起き・朝ごはん」運動の啓発

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

市内の幼稚園や保育園、児童センター等へ保健師と栄養士が出向き、保護者や先生を対象に「早寝・早起き・朝ごはん」の意義や重要性について講話しています。

【効果】

子どもの正しい生活リズムの必要性や食習慣を見直す機会となっています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
出前食育講座参加数	90 人	43 人	6 人	32 人	35 人

(健康推進課)

取り組み 9

健康診査での食事指導

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

妊娠期、乳幼児期、成人期などを対象にした健診にて、保健師や栄養士が食事指導に携わっています。

個々の生活状況を把握しながら、生活習慣病予防や健康を守る栄養バランスのとれた食生活や生活リズムのつながり等について知識を普及し、改善できる方法を見つけるよう、個別に相談を受けています。

【効果】

自分や家族に必要な栄養の基準量を知り、自分や家族に合った食品を判断し、選択できるようになっています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
乳幼児健診 栄養指導数	1,197 人	1,126 人	1,109 人	1,160 人	1,200 人
特定保健指導 実施率	58.0% (196 人)	64.7% (189 人)	60.5% (202 人)	72.3% (222 人)	60.0% (200 人)
成人健康相談数	実 101 人	実 132 人	実 167 人	実 175 人	実 180 人

(健康推進課)

取り組み 10

試食やフードモデルなどの教材を
活用した栄養講座

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

妊娠期、乳幼児期、成人期などを対象に、栄養や食事に関する講座を開いています。

生活習慣病予防や健康を守る栄養バランスのとれた食生活や生活リズムのつながり等について、栄養バランスの取れた弁当を試食したり、適量を目でみてイメージしやすいようフードモデルを活用して、理解を深めています。

【効果】

自分や家族に必要な栄養の基準量を知り、参加者同士の交流や情報交換でも、栄養摂取のコツや工夫を学んでいます。

	H24	H25	H26	H27	H28(見込)
マタニティスクールでの栄養講座	42人	30人	46人	31人	38人
育児交流会での離乳食講座	56組	71組	50組	55組	65組
健康づくり推進員講座・試食	51人	49人	47人	20人	9人
健康教室 生活習慣病予防教室	実50人 延130人	実28人 延73人	実39人 延112人	実27人 延52人	実30人 延90人

(健康推進課)

取り組み 11

保育園における農作物の栽培、収穫体験

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

保育園では、年齢別に食育計画を策定し、普段から4・5歳児に給食の配膳を手伝ったり、園児の「育てる」「収穫する」体験や、収穫した野菜などを5歳児がクッキングし、試食をしています。

	5~6月	9月	1~2月
栽培体験	苗植え		
収穫体験	いちご狩り	栗拾い	
調理実習		カレーライスづくり	簡単お菓子

【効果】

「大切に育て、収穫し、おいしく食べる」ことを体得し、五感を育てています。

食べ物の大切さ、自然の恵みに感謝する心を育み、嫌いな野菜も食べれるようになっていきます。

(保育課)

取り組み 12

中学校で給食食べ残し調査

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

保体委員の生徒と栄養教諭が中心となって、年2回給食の残量調査をしています。残量の写真を撮影し、廊下に掲示しています。

【効果】

生徒に残さないで食べようという意識が向上し、給食の食べ残しが減ってきています。

	H24	H25	H26	H27	H28(見込)
調査実施数	2校	2校	2校	2校	2校

(給食センター)

取り組み 13

エコクッキング教室等における

基本目標	1	2	3	4	5	6
------	---	---	---	---	---	---

もったいない気持ちの醸成と地産地消の取り組み

ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高
---------	---	---	---	---	---	----

【内容】

小学生を対象としたエコクッキング教室で、できるだけごみを出さないことや地元産の食材を使用すること、後片付けでできるだけ洗剤を使用しないなどのエコを意識した調理実習をしています。

また、一般家庭を対象に、できるだけごみを出さないために廃食用油の回収や生ごみたい肥化を勧める講習を開催しています。

【効果】

実際の調理で水や電気の省エネについて考える機会となっています。調理の食材に地元産の農産物の規格外の材料を使用して、地産地消やもったいない気持ちを醸成しています。

	H24	H25	H26	H27	H28(見込)
エコクッキング参加数(回数)	156人 (5回)	154人 (5回)	126人 (4回)	143人 (4回)	未定 (4回)
廃食用油回収	2335.0ℓ	2314.0ℓ	2150.0ℓ	2195.5ℓ	2200.0ℓ
生ごみたい肥化容器等たい肥化講習会	6回	5回	3回	4回	4回

(環境課)

取り組み 14

家庭菜園や市民農園で活用できる農業講座

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

市民を対象に、農作物の栽培知識や技術を農業専門員や現役農業者から伝えている講座です。

【効果】

初心者でもわかりやすく説明して行い、食や農業への関心の高まり、家庭菜園をする人が増えてきています。

	H24	H25	H26	H27	H28
野菜づくり講座	14人	18人	15人	13人	10人
参加して「満足」と回答した参加者数	11人	15人	15人	11人	8人

(農政課)

取り組み 15

市民農園開設のための費用助成で

農作物を作る楽しみや喜びを体験する場の提供

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

遊休農地の有効利用を図り、認定市民農園の施設の開設に要する費用の一部を助成しています。

【効果】

遊休農地を有効に利用することができています。また、開設された農園では、自作する農作物の成長を喜びとともに、農家の苦労も実感することができています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
菜園パーク促進事業	0件	0件	1件	1件	1件

(農政課)

取り組み 16

北広島の農産物の魅力を発信 ①

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

農産物直売所や収穫体験型農場を掲載した交流マップ等を作成し、北広島の農業等の魅力を発信しています。

【効果】

交流マップに掲載されている農園に訪れる人が増え、広く活用されています。市外・道外へも機会を見つけてマップを配布しており、グリーンツーリズムの推進となっています。

	H24	H25	H26	H27	H28 (見込)
交流農園マップ作成	25,000枚	23,350枚	27,500枚	27,700枚	28,580枚
交流農園マップ配布(率)	20,000枚 (80%)	25,305枚 (99.8%)	27,500枚 (100%)	27,700枚 (100%)	28,580枚 (100%)

(農政課)

取り組み 17

北広島の農産物の魅力を発信 ②

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

地元食材を使用している商品（コロッケ、春巻、グラタン、カレー、ポテトパイ、プディング）を市内外でのイベントで紹介したり、WEBにより情報発信をしています。

【効果】

食資産の活用に効果があがっています。

	H24	H25	H26	H27	H28（見込）
販売やPR	8回	16回	17回	17回	3イベント

（観光振興課）

取り組み 18

地産地消料理コンテスト

基本目標	1	2	3	4	5	6
ライフステージ	妊	乳	学	青	壮	中高

【内容】

その年に選定された地元食材のオリジナルレシピを募集し、応募作品の中から数点の試食審査をするとともに、レシピを配布しています。

【効果】

地産地消について周知できる機会となっています。

	H24	H25	H26	H27	H28
料理コンテスト応募数				29点	55点

*H24～26年度は消費者大会、H27年度からは環境ひろばの中で実施

（環境課）